

**千年先のあなたへ**

佐藤 まどか：作 / 佐藤 真紀子：絵 / BL出版

杏は、宮大工になった大好きなお姉ちゃん、花梨の職場を見学します。杏の目を通して、日本の伝統建築にたずさわる職人の現場を描くと同時に、「大変だけど好き」な仕事をすることの意味やすばらしさを感じることができます。



市民図書館所蔵

**おすすめの本****いつもの紅茶がもっとおいしくなる本  
ティーバッグから始める紅茶ライフ**

保科 健：著 / 時事通信社

紅茶に興味はあるけれど、難しいと思う人は多いのでは？ ティーバッグでおいしく入れる方法や茶葉の特徴、保管の仕方など、紅茶に関することが分かりやすく書かれたこの本と一緒に、自分だけの紅茶の楽しみ方を見つけてみませんか？

**市民図書館ボランティア募集**

**内** 書架整理、資料の簡易修理、地域資料の整理、読み聞かせ（3年以上経験のある人）、図書館行事への協力

**対** 市内居住の16歳以上の人**ボランティア説明会（事前申込不要）**

**時** 2月12日(木)…午後2時～  
13日(金)、15日(日)…午前10時～  
(いずれかに参加、1時間程度)  
**場** J:COM ホルトホール大分2階  
201・202会議室  
※15日(日)は202会議室のみ

**市民図書館、分館、各図書室は  
蔵書点検のため休館します****時** 3月2日(月)～12日(木)

※予約本の受け取りもこの期間中はできません。休館中の本の返却は、図書返却口、図書返却ボックスへ。

※おおいたし電子図書館は、ご利用いただけます。



詳しくは、  
市民図書館HPをご覧になるか、  
市民図書館(☎576-8241)へ。

**シリーズ じんけん 人の生き方を考える 566**

それって、本当におばあちゃんのためなの？」と言うので、とっさに「あなたには分からないよ」と返していました。そんなわたしに息子は「この前、学校であった人権講演会で『みんなにとって、生きがいを感じ前向きな生活ができるることは幸せなこと。それは高齢者も同じ』って話があったんだ。ぼくは、しっかり者のおばあちゃんにできないことが増えていくことはさみしいけど、幸せでいてほしい。だから、おばあちゃん抜きで決めてはいけないと思う」と真剣な顔で自分の考えを話してくれたのです。

わたしたち姉妹は、自慢の母が老いていくことを受け入れられず、母のためだと言いながら、実は自分たちが嫌な思いをしたくなかっただけなのかもしれません。母らしく生きていく大切さに気付かせてくれた息子の成長を感じながら、もう一度、姉と一緒に母に会いに行こうと思ったのです。

その人の思いや考え方を尊重することで、その人らしく生きていくことにつながるのではないか？

**高崎山の冬の風物詩、さるだんご**

1年の中でも寒さが厳しい2月。高崎山自然動物園のニホンザルたちにも寒さは容赦なく襲い掛かります。サルたちはどうやって寒さをしのいでいるのでしょうか？



冬は、サルたちはどんな生活をしていますか？  
高崎山は別府湾に面している影響で、冬になると冷たい海風が吹きます。そのため、サルたちは冬の寒さをしのぐ行動を日ごろから取っています。

晴れた日は、家族で集まり風をしのいだり、なるべく陽が当たる場所へ移動し、胸とお腹を太陽に向かって温めたりします。

曇り空の寒い日は、数頭のサルが集まり体を寄せ合って暖を取ります。雪が舞うような寒い日は、この集まりが徐々に広がり、多いときには100頭近くの塊になります。この様子を「さるだんご」と呼び、高崎山の冬の風物詩になっています。また、園内に設置している「おさるの暖炉ヒーター」の前で暖を取る姿を見るができるのも寒い日ならではの光景です。

皆さん、ぜひ高崎山自然動物園へお越しください。

問 高崎山自然動物園 ☎532-5010

**その人らしさとは…**

1人暮らしをしている母の家に、姉と一緒に行ったときのことです。「これ出しておいて」母がそう言いながらわたしに差し出したのは、同窓会に出席する返信はがきでした。わたしは「行くつもりなの？」と一方的に言いながら受け取りました。最近の母は、日付を間違えたり、約束を忘れたりすることが増えてきただけでなく、好きだったおしゃれもしなくなったり、同窓会で恥ずかしい思いをしたら…と考えていると姉が「同窓会に行って楽しめるかなあ？」と言うのでした。姉とわたしは出席の返事を出す決心がつかず、母には内緒でわたしがはがきを預かることにしました。

帰宅後、テーブルに置いていたはがきを見た息子が「おばあちゃん、同窓会あるんだ。いいな」と言うので「最近の様子から考えると、友だちの前で恥ずかしい思いをしたからわいそうだから、行かない方がおばあちゃんのためだと思ってるんだけど…」と、悩んでいることを話しました。すると息子は表情をかえ「最近の母さんたち、おばあちゃんがやろうとすることを何でも反対するよね。

編集担当より

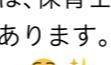
今号の表紙は、保育士特集にちなんで「しんかすがまち認定こども園」の5歳児クラスを撮影しました。

当日は、朝から風が冷たかったのですが、こどもたちはお構いなし。

みんなで一齊に滑り台を滑ったり、坂道を駆け上がったり、とても元気な姿を見せてくれました。

笑顔のこどもたちを見ていると、こちらも幸せになる、すてきな撮影時間でした。

市には、保育士として働きたい人をサポートするさまざまな制度があります。気になった方はぜひ2、3ページの特集もご覧ください。



香月茶▼



スマホ  
はがき

**市報クイズ**

4月1日から自転車の交通違反に  
○○○○が導入されます。

ヒントは、この市報の中にあります。

1月号「市報クイズ」の答え  
お早めに！市民税・県民税の申告は

「3月16日まで！」

正解者の中から抽選で、市ブランド認証加工品「Oita Birth」からハーブティー「香月茶」を3人にプレゼント！

※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

右の二次元コードから応募してください。

はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、2月15日(日)(消印有効)までに広聴広報課(〒870-8504

荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



○に入る  
言葉は何か？